つなぐ手

2018

平成30年9月

vol.12

平成30年9月30日発行

~	
	ナト
	10
	9

- 平成30年度富山県総合防災訓練 ………… 1~3
- ●とやまの特産品MAP ……4~5
- 第15回全国小学生学年別柔道大会富山県大会… 6
- •第67回富山県高等学校柔道選手権大会………6
- 平成30年新川地区中学校選手権大会柔道競技… 7

公益社団法人 富山県柔道整復師会

- 第16回チューリップカップinとやま2018ビーチボール大会… 7
- 第38回魚津しんきろうマラソン………8
- ●第35回カーター記念黒部名水マラソン……8



平成30年度 富山県総合防災訓練に参加して

氷見市

日時会場

平成30年9月2日(日) 午前8時30分 氷見市運動公園 (メイン会場)

本年度の富山県総合防災訓練は、大規模地震や 集中豪雨を想定し氷見市を中心に高岡、射水市 を含む計9会場で県や市、警察、消防、自衛隊な ど約140機関の約6400人が参加し開催されました。 今夏の西日本豪雨や大阪北部地震の教訓を取り入 れた訓練もあり、非常時への対応を確認しました。

邑知潟断層帯を震源とするマグニチュード7.6 の地震が発生し、氷見、高岡両市で震度7、射水 市で震度6強を観測。県西部で局地的な集中豪雨 もあり、建物の倒壊や土砂災害で多数の負傷者が 出ているとの想定で行われました。

同公園駐車場では地震で倒壊したブロック塀や 家屋、土砂で閉じ込められた車からの救出訓練な ど実施。消防隊員や自衛隊員らが塀を持ち上げて 土砂を取り除くなどして負傷者を助け出し、救護 所に運び込む訓練も行いました。

石井隆一知事や林 正之氷見市長らが視察されました。



高岡ブロック 窪田 和一











当会からは林 豊輝会長、河合 優副会長、眞田 克樹災害対策委員長をはじめ23名の会員が参加し、 救護支援活動を目的に簡易担架での搬送、負傷時 の緊急応急処置の訓練を行いました。

最近では豪雨災害や台風被害が多く発生しているだけに、今回行われた訓練の重要性が感じられました。今後災害時の救援支援活動が的確に、また円滑に行えるように防災訓練に積極的に参加し、学び体験して、災害時の支援活動に役立てたいと思います。

高岡市

日時

平成30年9月2日(日) 午前8時30分 高岡市立国吉中学校

大規模地震や集中豪雨を想定した県総合防災訓練が氷見市を中心に高岡、射水市を含む計9会場

高岡ブロック 柴田 成人

で行われ、公益社団法人富山県柔道整復師会高岡 ブロックとして、国吉中学校で怪我の応急手当を 地元住民の方に実演してきました。参加された会 員は、吉村英男副会長、細呂木孝理事、藤森和則 地区監事、柴田康由会員、三輪芳光会員、清原正 樹会員、地元の浅川 透会員と私、柴田の8名です。

実演内容は、家庭にあるダンボールを固定具と して利用し、シーツを裂いて包帯替わりに利用し て、応急手当をしました。

また、テーピングを手で切る仕方を地元住民の 方に実践してもらい「なかなか切れんわ」「コッ さえ掴めばこんな簡単に切れるんやねしなど怪我 の応急手当の指導よりも盛り上がっていました。

時間は9時から10時30分ぐらいで終わり、体育



館に参加者全員集合し、防災士の方より地震、津 波の話があり自治会長の挨拶、高橋正樹高岡市長 の挨拶があり閉会となりました。

訓練の意義を理解して、また来年の防災訓練を 考えていきたいと思いました。





射水市

日時 平成30年9月2日(日) 午前8時30分 会 場 射水市立作道小学校

晴天の下、富山県総合防災訓練が射水市でも開 催されました。メイン会場は射水市立作道小学校 グラウンド・体育館・作道コミニティセンター等 で行われました。

体育館内では、医師会・薬剤師会等のブースま たAED体験講習会が行われ、物資の置き場や防 災用品や非常食、ボランティアによる避難者の受 付訓練、過去の災害写真等の展示が掲載されてい ました。

グラウンド内では校下住民400人以上が避難民 の役割で集まり移動体験、救助の実演、消防によ る放水また消化建物の解体、自衛隊による物資輸



高岡ブロック 嶋 光一

送、緊急用テントや通信等ライフライン展示、コ ミニティセンターで炊き出し(カレーライス)が 作られ、石井富山県知事、夏野射水市長など多数 の人が参加されました。

大勢の人が被災する恐ろしさと日頃からの準備 の大切さを実感しました。









第15回 全国小学生学年別柔道大会 富山県大会

日 時 平成30年5月26日(土) 午前9時

県営富山武道館

スポーツ委員 黒崎 洋昭

富山県柔道連盟からの救護支援依頼により、冨 田静夫会員と私の2名で全国小学生学年別柔道大 会富山県大会の救護活動を行いました。県内の各 地区から小学5~6年生の男女131名が集まり、そ れぞれの階級別で全国大会の出場を目指して熱戦 が繰り広げられました。

私は、集合時間に合わせて会場へ向かいました が、すでに駐車場は混雑しており、駐車するのに 苦労しました。次回からは、もう少し早く行動し た方が良いと反省しました。

会場に入ってからは、大会責任者の先生にご挨 拶し、救護の備品などを確認して競技開始に備え ました。

今回の救護活動は、怪我をする選手が現れず救 護要請はありませんでした。私も何度かこの柔道 大会に救護活動で参加してきましたが、このよう なことは初めてでした。少し物足りない感じにな

りましたが、要請が無かったことは幸いです。

今回も会場の観客席は父兄で満員となり、後方 は立ち見も出るほど大盛況でした。勝って喜ぶ選 手、負けて悔し涙を流す選手を見て、子供たちの 柔道に対する純真さが伝わる良い大会でした。ま た、指導者や大会運営に関わる先生、審判員の先 生方の熱心さも伝わってきました。県代表に選ば れた選手達は全国大会でも活躍されることを願っ ています。

最後に、今回ご一緒した冨田先生は、柔道の指 導者としても活動されているそうですが、救護担 当として初めて参加していただきました。今後、 このように柔道を熟知しておられる柔道整復師の 先生方が、少しでも多くこのトレーナー活動(救 護活動)に参加していただけるようご協力をお願 いいたします。



第67回 富山県高等学校柔道選手権 大会救護に参加して

平成30年6月2日(土)・3日(日) 午前9時

場所

アルビス小杉総合体育センタ

スポーツ委員長 前原 征一

柔道競技を行う高校生の最重要な大会である富 山県高等学校柔道選手権大会が約300~400人が見 守る中、始まりました。2日間にわたり、全国大 会出場の権利を得るため、力と技を競う熱戦が繰 り広げられました。初日は男女団体試合、2日目 は男女個人試合が行われ、会場の中は緊張感で満 ち溢れ、試合中の静けさは判定後の歓声と相反す るものでした。

私は救護係として始めて参加し磯谷先生、清原 先生と共に8名の救護活動をしました。初日は 粛々と試合が行われ、救護を要する選手も少なく、 これで終了するのかなと思った頃でした。男子団 体戦決勝の大舞台にドラマは待っていました。な んと!大将戦に出場した選手が頭部より2ヶ所出 血したのです。以前より切り傷があったと思われ、 下部の出血は耳上部にまで鮮血を確認しました。 骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷等の応急処置は慣 れているものの、止血の処置は経験が浅く、試合 を中断している環境もあり久々に緊張し、心音が 自身でも感じられるかのようでした。坊主頭にカ ット絆創膏を貼付しても皮膚で無い為、装着出来





ません。弾力テープで止めようと考えましたが、 汗で装着は不可能な予感。「そうだ!アンカーテ ープを巻こう | と考え、3列テープをグルグル巻 きしたところ装着可能となり、ホッと胸を撫でお ろしました。後は試合終了までテープが取れない よう祈るだけ・・・。

結局、最後まで貼付したテープを装着し、無事 終了のブザーを聞くことが出来ました。翌日、 「昨日と同じ処置をお願いします」と、昨日救護 処置をした選手が試合前にやってきました。私は この大会に貢献できる喜びを感じながら、2日目 の救護を終えることが出来ました。

平成30年新川地区中学校 選手権大会柔道競技

日 時 平成30年6月16日(土) 午前8時30分~15時

場 所 滑川市総合体育センター 武道場

新川ブロック 稲垣 一仁

富山県内も梅雨入りしたとの発表がありました が、当日は、比較的涼しく、湿気も低かったため、 試合をする選手たちには良い条件だったと思いま す。

今年は、多くの新入生も加わり、昨年よりも出 場選手が増えたそうです。中学から初めて柔道を

始め、試合に参加できない生徒も何名かいました が、午前の団体戦には男子8校、女子3校が参加。 また、午後の個人戦には男子52名、女子8名が参 加しました。

柔道大会の救護は、私自身、今回が2回目で、 不安もありましたが、一緒に参加した開澤先生に 教えてもらいながら、試合を見守りました。白熱 した試合が続き、何度か負傷を思わせる場面もあ りましたが、試合中の負傷は、鼻血による止血が 1名のみでした。日頃から、柔道の指導に携わっ ておられる先生方が多いと思われ、ケガ予防に柔 軟性や体の使い方の指導が生かされているのでは ないかと思いました。

今後も、多くの方に柔道整復師、接骨院を認識 してもらえるように、TJAT活動を継続していく 事が重要だと感じました。

第16回 チューリップカップINとなみ 2018ビーチボール大会

日 時 平成30年4月22日(日) 午前8時~午後5時

場所

▶ 富山県西部体育センター 大アリーナ、中アリーナ

砺波ブロック 水上 靖降

2018年となみチューリップフェア開催時 に本年度は県内66チーム306名、県外73チー ム 337 名合計 643 名参加の下、砺波市ビーチ ボール協会より今年も選手救護支援の要請が あり、今回は平木 篤会員と私の二人で負傷 者の応急処置を施すことになりました。

ここでは応急処置と予防等のテーピング処 置を主とし、コンディション・ケア等は一切 お断りさせて頂いています。16 コート一斉 に試合を回し、試合と試合の合間に何時でも テーピング等の依頼に対応するためであり、 コンディション・ケア等については各自己管 理で行ってもらいます。

当日の外傷よりも競技開始前に再発予防の テーピング、試合の合間に再発悪化による対 処のためのテーピング処置が多く、部位とし ては膝関節・下腿後面・足関節等の下肢が7 割、次いで腰背部、上肢といった頻度です。

競技中における外傷といえば捻挫若しくは 筋・腱の損傷が殆どでしたが、今大会、頭部 創傷の応急処置を施しました。私はこの大会 に7年間続けて救護させていただいておりま す。出血の処置は皆無でしたが、何時でも予 期せぬ事が起こりうるのだと今回良い経験を させて頂きました。

最後に、救急バックにはテーピング等の材 料は豊富でしたが、大きめの絆創膏も用意し て下さるようお願いします。





第38回 魚津しんきろうマラソン大会

日 時 平成30年4月30日(月) 午前6時50分~午後2時50分

場 所 ありそドーム

スポーツ委員 浜岡 保之

天気は晴れで、気温25.4℃、蜃気楼とクジ ラ? (この日富山湾では日本海側3回目とな るマッコウクジラらしきものが観測されたら しい)が応援する中マラソンがスタートしま した。

時間の経過と共に気温が上昇していき過酷 な気温の中マラソンが行われ熱中症を患われ る人も数名おられたようです。

ゲストランナーの市橋有里さん、野尻あず ささん、西村哲生さんらをはじめ、県内外の ランナー6.700人余りの方がハーフマラソン を走られました。

私達のブースでは、準備中からストレッ チ・コンディショニング・テーピング等に利 用者さんが受付に来られ、準備が完了とな り次第、対応させていただきました。これ は、各会場で先生方のTIAT活動による活躍 が柔道整復師会のPRになっているものと感 じました。

ゴール後のケアでは筋痙攣、肉離れ等の 対応に追われ後半は沢山の方を待たせるこ とになり数名帰って行かれたことが残念で した。

今回の活動では合計225人が利用されまし た。近年、富山マラソンの練習を兼ねて参 加される方が増えているように思います。 また、単なるマッサージとしてではなく今 後の練習についてアドバイスを求められる 方も少なくなく、増えていく利用者さんに 満足して頂けるよう今後とも知識・技術の 研鑚に励みたいと思いました。





第35回 カーター記念 黒部名水マラソン

日 時 平成30年5月27日(日) 午前6時30分~午後4時30分

場 所 黒部市総合体育センター

新川ブロック 中山 克裕

第35回カーター記念黒部名水マラソンが快 晴の空の下、開催されました。当日9時のコン ディションは晴で、気温は19.0℃、湿度は75%、 西北西の風1.4m/secでした。6時30分に小柳接 骨院に集合し、会場に向かいました。7時10分 に準備が完了後、トレーナー受付を開始し、 競技者への対応、処置を始めました。

朝のうちはとても爽やかな気候でしたが、 徐々に気温が上がり日差しも強くなり選手達 にとってはとてもきついレースだったと思い ます。殆どの選手達からも暑かったとの声が 多く聞かれ、下肢の筋痙攣をおこして来られ る方が多くいらしゃいました。

午前中は、走ることに不安のある方、また フルマラソン以外を走られた方、お昼以降は フルマラソンをゴールした方が次々と利用を 希望され、炎天下の下、テント前には利用希 望者が溢れ、絶えず30分待ちの状態でした。

受付で30分待ちと聞いて諦める方も多く、 申し訳なかったです。全体の参加人数9,661人、 利用者数延べ380人ほどでした。会員総勢12名 で対応し、利用者の方達からは喜ばれました が、すべての利用希望者の期待に応えること の難しさを実感しました。

15時に競技が終了、16時30分競技者への対 応、処置終了後片付けを終えて解散いたしま した。今回の経験を活かし今後の施術に役立 てたいと思います。





